

技術情報/表面処理について

表面処理について ねじの材質には、大きく分けて"鉄"と"ステンレス"があります。ねじは下記のような表面処理を行なうことによって、いろいろな特色を持たせることができます。近年では、ねじの基本的な性能やコストと合わせて地球環境保護性能も求められています。当社では、三価クロムなど新しく開発された表面処理を行い、環境に配慮しています。

表面処理の目的

金属表面処理の目的は、美観性、耐食性の向上、機能の付与がありますが、一番重要な項目としては、使用される各環境における耐腐食、ねじ材料の強度保存の役割が求められています。

表面処理の種類

●三価ユニクロ

電気亜鉛めっきを施した上に美観をもたせるため、光沢クロメート処理を行なったもの。めっきとしてもっとも広く普及し安価。

●イエロークロメート

電気亜鉛めっきの後化成処理である有色クロメート処理を施したものの。皮膜は黄色、または黄褐色。

●グリーンクロメート

各種クロメートめっきの中では最も耐食性が良好です。皮膜はオリーブ色。

●パーカー

磷酸塩皮膜化成処理と防錆油処理を施したものです。油っぽくべたつく。防錆力は劣ります。色は黒色。

●ジンロイ+Kコート

亜鉛-ニッケル合金めっきに防錆コーティング剤のKコートを実施したものの。色はステンレス光沢で美麗。高耐食。

●ラスパート（シルバー・ブラウン・グレー他）

電気亜鉛めっきの後、化成処理で密着性を良くして、セラミックベースの塗装をし加熱焼付けたもの。色は選定できません。

●三価シルバー

電気亜鉛めっきの上にフッ素系焼付け塗料を浸漬塗装し加熱焼付けたもの。色はシルバー。

●ダクロ

亜鉛とクエン酸を含んだ処理液に漬けて塗装後、加熱し素地に焼付けたもの。

●パシペート

製品表面の不純物を除去し、硝酸等でステンレスの表面に極めて薄い酸化クロム層（0.005 μ m）を強制的に形成して錆の発生を防止。

●パシペートワックス

パシペートの表面に潤滑性を加え、焼付き防止と打込み性能アップ。

●スーパーパシペート

パシペート処理に熱処理前洗浄工程を追加して、さらなる耐食性向上を図ったステンレス表面改質処理。

●スズめっき

ニッケルめっきを施した上に、錆や変色に強いスズの薄い皮膜を被せる処理。外観は美麗。